

「植物標本のつくりかた」

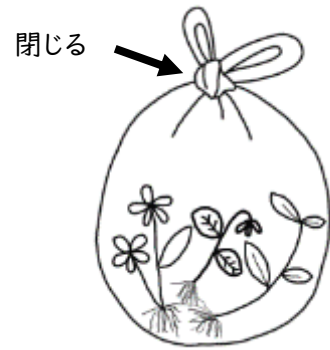
茅ヶ崎市博物館

【植物を採集する手順】

植物を採集する→根を洗う→形を整え、新聞紙などにはさみ乾燥させる→乾燥した標本を台紙にはる→完成

【採集する】

- ・マナーを守って採集する
よその土地にかつてに入らない。
必要な分だけとる。ハサミやシャベルを使う。
- ・花や実がついているものをとる。
小さい草はできれば根からとる(土はよく落とす)。
- ・標本の台紙(A3 サイズ)におさまるようにとる。
- ・メモをのこしておく。
例:エノコログサ、茅ヶ崎市堤、2022年8月7日 など。
植物の名前がわからないときは、花や実の色などもメモしておく。
- ・ビニール袋に入れて口を閉じて持ち帰る。



【おしばにする】

- ・根の土はていねいに落とす。洗っても良い。
- ・1枚の新聞紙を半分に切り、二つ折りにして植物をはさむ
(A3 サイズの場合)。
- ・植物の名前、採集地、採集日、採集者を新聞紙の下の余白に書いておく。
- ・台紙からはみ出さないように、大きいものは折ってととのえる。
葉の裏側も見せる。



二つ折りにした新聞紙に植物をはさむ

- ・植物をはさんだ新聞紙の上下に、すいとり紙用の新聞紙
(2-3枚程度を台紙サイズにおったもの)をはさみ、たがいちがいに重ねる。
- ・上に板を置き、重しをのせる。
- ・すいとり紙は、毎日とりかえ、乾燥させてまた使う。
はじめの3日くらいは1日2回とりかえると良い。
- ・はじめてとりかえるときは、新聞を開いて、植物の形をととのえる。
- ・ふつう1週間から2週間でかわく

★早く水分を抜くのがきれいに仕上げるコツ！



上に板を置き、重しをのせる

【植物標本づくり手順】

植物を採集する→根を洗う→形を整え、新聞紙などにはさみ乾燥させる→乾燥した標本を台紙にはる→完成

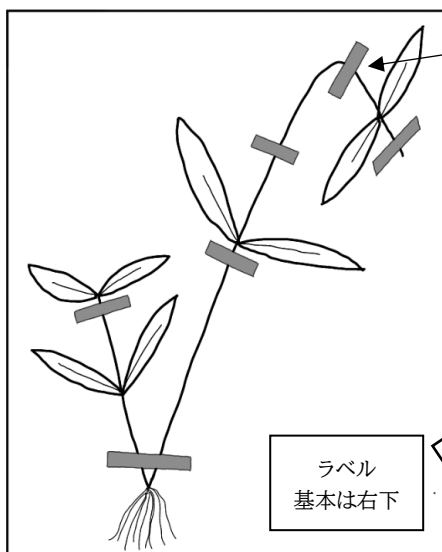
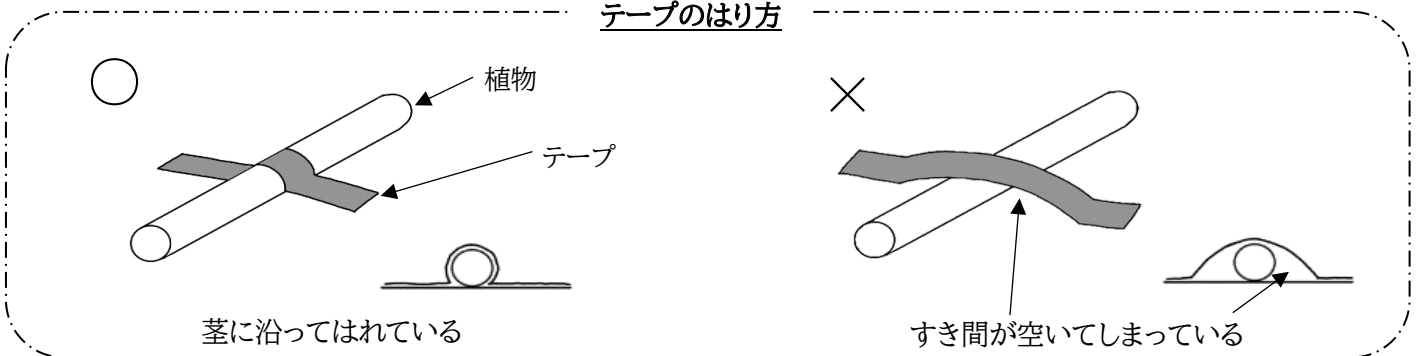
【植物標本をつくる目的】

- ・そこに生えていた証拠を残すことができる。
- ・植物をくさらすことなく保存し、形を残すことができる。
- ・名前を正しく調べることができる。

【台紙にはりつける】

- ・A3 サイズのケント紙などを、植物を張り付ける台紙にする。
- ・ラベルを作り、標本にする植物の採集地、採集年月日、採集者、種名などを記入し、台紙の右下にはる。
- ・標本を新聞紙から台紙にそのまま移し、テープで止める。
- ・太い枝は動いてしまうので、茎にそって包み込むようにはる。
- ・テープは裏にのりがついている水張りテープなどを5ミリ巾に切って使う。
- ・落ちた実やタネ、花などは小さい袋に入れて、余白に両面テープなどではっておく。

テープのはり方



植物がはみ出そうだったら、台紙に収まる様に乾燥前に折る

ラベル
基本は右下

| | | |
|-------|-------|----|
| 科名 | 科 | 番号 |
| _____ | | |
| 学名 | _____ | |
| _____ | | |
| 和名 | _____ | |
| 採集地 | _____ | |
| 年月日 | 採集者 | |
| _____ | | |

【保存する】

- ・完成した標本は、チャックつきポリ袋などに、防虫剤と一緒にに入れて湿気の少ないところに置く。